

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）

A：十分達成で
きている
B：おおむね達

様式1（小・中）

学校名	唐津市立巻木小学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>合科関連的な視点で単元づくり・授業づくり・環境づくりを行うことで、効果的な教育課程を実施することにつながっている。今後は、指導と評価の一体化を促す手立てを構築していくことが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の豊かな知識や経験を生かした支援により、体験からの学びを充実させることができていた。児童の課題意識に応じた体験学習や郷土の課題解決のために自分や地域住民でできる持続可能な取組などを充実させていく。取り組んだことを学校統合関連行事での発表にもつなげていきたい。 ・教職員の半数以上が入れ替わったが、各職員が時間外勤務時間削減の意識をもち、メリハリをつけて業務を行うことができた。職員が心身共に健康に働くことができるように、組織力を生かした改善策を今後も探っていく。
2 学校教育目標	<p>学校教育目標 自ら気づき、考えて、動く子どもの育成</p> <p>○自分に自信が持てる子どもの育成【心理的安全性を高める】</p> <p>○様々な教育活動を通じた、自己決定する場の設定（授業改善・生徒指導・行事や集会）【自己決定】</p> <p>○あたたかく（徳）、かたく（知）、たくましく（体）のバランスよい育成【三位一体】</p>
3 本年度の重点目標	<p>本年度の重点課題</p> <p>①主体性の深化と発展を目指したカリキュラムマネジメント</p> <p>②統合に向けた取組の充実（地域のよさを感じ、未来への希望・期待を抱けるようにする）</p> <p>③ワークライフバランスを考えた働き方の推進</p>

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1) 共通評価項目			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●全職員による共通理解と共通実践 ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間で共通実践を共通理解するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・学期に数回、唐津の学びスタイルチェックシートで進捗を自己評価する。 							・学力向上対策 コーディネーター
	○主体的・対話的で深い学びの継続と展開	○学校は、児童が主体的に考え、これまでの学習を活かしたり、学んだことを更に広げたりできる授業づくりに取り組む。 【児童の考えを広げたり深めたりする児童85%以上（アンケート）】	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学べるような単元づくりや課題設定を行う。 ・児童がこれまでの学習を確認できるような学習環境を整える。 ・児童自身が学びをメタ認知できるような振り返りの場を設定し、唐津の学びのスタイルに沿った授業展開ができるようにする。 							・研究主任 ・学びづくり部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会的、倫理的な正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校行事やなかよし班の活動に積極的に参加し、異学年との交流を楽しむ児童80%以上。 ○「あいさつ十一言」「ほかほか言葉」を推進し、児童の豊かな心づくりに取り組む。【「あいさつ十一言」ができる児童を90%「ほかほか言葉」の言葉遣いを意識している児童を85%以上（児童アンケート）】	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会や委員会、クラブ、集会などの場において、それぞれの個性や立場を認め合える活動を仕組む。 ・委員会を中心に、挨拶運動の輪を広げる。放送や表彰の継続。 							・心づくり部 ・特別活動主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○道徳授業や人権集会、特別活動等を効果的に活用し、いじめを生まない風土や集団づくりに取り組む。 ○生活問題協議会、アンケートによるいじめの早期発見・早期対応に取り組む。【保護者アンケート80%】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の思いを学校行事や集会活動を反映させ、主体的に企画、運営する。 ・「なかよしアンケート（毎月）や生徒指導協議会で、気になる児童について全職員で共通理解し、対応を考える。 							・心づくり部 ・教頭
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていてと思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・集会や行事の中で関わる児童に対して、教師が適切な評価をすると共に次の励みになる声掛けを積極的にし、児童の自己肯定感を高めるようにする。 ・キャリアパスポートを活用し、それぞれの未来への思いを学級で共有することで、夢へ向かって進もうとしている友達や自分を素敵だと思えるを育てる。 							・心づくり部 ・特別活動主任 ・生徒指導主任
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	○学校は、「健康に良い食事」を意識するよう呼びかけたり、振り返る場を設定したりすることで、望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成に取り組む。 【児童アンケート85%以上】 ○児童生徒の交通事故を0（ゼロ）にする。【児童の交通事故0（ゼロ）】	<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ご飯」の徹底を図るために、毎週水曜日に元気チェックで生活習慣を振り返らせる。保護者に年2回生活ふりかえりシートにコメントしてもらう。 ・交通安全教室や避難訓練を通して、「自分の命は自分で守る」という危機管理意識の向上を図る。 							・からだづくり部 ・体育主任 ・養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材をデータベース化したり、校務事務の共有化したりすることで、事務作業の時間を軽減する。 ・チームワークを生かし、職員間で連携・協働しながら業務を行うようにする。 ・定時退勤日を設定し、職員に積極的に周知することで、1週間1日の定時退勤日の実施を徹底する。 ・職員各自が、毎月の時間外勤務集計記録を確認しながら、時間外勤務の上限を（45時間）超えないように勤務時間の調整に取り組む。 							・教頭
	○勤務時間の適正化	○会議や事務の効率化を図り、教職員が児童に向き合う時間を確保する。 ○定時退勤日の周知を徹底し、実施率を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・会議時間の設定や事前の資料配布等を確実に行う。 ・週1回の定時退勤日の徹底と出退勤システムの活用により、ワークライフバランスを整える。 							・教頭
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)								
○主体性の深化と発展を目指したカリキュラムマネジメント	○「学びづくり部」「心づくり部」「体づくり部」の3部連携を軸とした教育課程の見直しと改善	○上学年部会部会、下学年部会を組織し研究と実践を進めて行く。 ○校内研究全体会を年間10回以上開催する。 【全体研究会の開催10回以上】	<ul style="list-style-type: none"> ・校内推進委員会、全体研究会、各部会とおして、カリキュラムマネジメントを推進する。 							・教務主任 ・研究主任
◎志を高める教育	◎地域と連携を図りながら郷土を誇りに思う児童の健全育成	◎地域の人・もの・ことを活用した体験型学習 全学年年間3回以上 【各学年の体験活動実施3回以上】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と学んだことを発信するとともに、学ぶよさを実感し、感謝の気持ちを伝える場として「地域ありがどう集会」を実施する。 							
○開かれた学校づくり	○家庭や地域との連携	○学校だよりを月1回以上発行し、学校ホームページの更新を定期的に行い、学校教育の情報を公開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの発行を月1回以上発行し、学校ホームページの更新を常時更新することにより、学校教育の情報を多方面に発信する。 							・教頭

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--